



藤のかけはし

F.I.A NEWS

ふじおかし こくさいこうりゅうきょうかい かいほう
藤岡市国際交流協会会報

Fujioka International Association

March 2025

2024年度は、リジャイナ市近郊の高校生など45名が藤岡市を訪れ、藤岡市の高校生と交流しました。

また、藤岡市中学校国際交流委員会によるリジャイナ市とのホームステイ事業が5年振りに開催され、藤岡市の中学生25名がホームステイプログラムに参加しました。

このように、カナダ-リジャイナ市との学生同士の交流が盛んであった本年度ですが、藤岡市国際交流協会では、藤岡市の多文化共生・国際交流を推進すべく、様々な活動をおこなってまいりました。



Regina-Fujioka High School Exchange Program

藤岡 - リジャイナ高校生交流プログラム

主催 藤岡市国際交流協会
藤岡-リジャイナかけ橋プロジェクト
共催 藤岡市国際都市交流実施委員会

一緒に活動をしたり、国際交流協会を応援してくれる会員を募集しています。「外国人の日本語学習を支援したい」「様々な国の人と交流したい」など、多文化共生社会に関心のある個人や企業・団体の方はぜひご協力ください。



年会費

個人会員2,000円

法人・団体会員10,000円

藤岡市国際交流協会事務局(藤岡市役所企画課内)

〒375-8601 群馬県藤岡市中栗須327

TEL:0274-40-2428(直通) FAX:0274-24-3252

発行日：2025年3月

発行者：藤岡市国際交流協会

編集：藤岡市国際交流協会総務部会

2024年度に実施した主な事業

総務部会

General Affairs

✓ 国際交流啓発事業

藤岡市の中学生25名が参加した、リジャイナ市とのホームステイプログラム。
このすばらしい経験を皆様に知っていただくために、2024年10月13日に開催された「市民活動フェスティバル」にホームステイ体験報告ブースを出展しました！

また、ステージでは代表者2名によるスピーチもおこなわれ、来場者にリジャイナでの体験・思い出を発表しました。



✓ 文化交流部会

Cultural Exchange

✓ 外国語講座

多くの人に外国语の学習を通して国際交流に対する理解を深めていただくため、市ALT等を講師にお迎えして開催しています。本年度は人気の韓国語講座のほか、中学生ホームステイプログラムに合わせ、ホームステイ英会話教室などを開催しました。



✓ 外国料理教室

2025年2月16日にスリランカ料理教室を開催しました。市内でスリランカカレーレストラン「キムランカ食堂」を営む、木村博明さんを講師に迎え、オールヴィーガンのスリランカカレーを教えていただきました。



✓ 国際交流パーティー

交流を通して異文化に対する理解を深めることを目的に、2024年12月7日に国際交流パーティーを開催しました。会場は、総勢163名の参加者で賑わい、市ALTによるクリスマスソングやステージ出演者による演奏・ダンスで盛り上がりました！



✓ 藤岡一リジャイナ高校生交流プログラム

2024年4月1日に、カナダ一リジャイナ市の高校生など45名を迎えて、みかばみらい館で交流をおこないました。藤岡市の高校生が英語で司会進行し、ヤリタナゴの研究発表や藤岡市の名物・名産の紹介をおこないました。リジャイナ市の高校生からも、原住民のダンスを披露してもらうなど、お互いの歴史や文化を知ることができます。

その後は、各グループに分かれ、和菓子と一緒に試食したり、うちわへの絵付け、日本の昔遊び、着物着付け体験を通して交流を深めました。



ボランティア部会

Volunteer

✓ 外国人のための日本語教室

「言葉の壁」により、日本での生活に不自由している外国人を対象に、毎月3回、金曜日の夜に日本語教室を総合学習センターで開講しています。学習は個別・グループでおこなっており、講師のスタッフが受講生の進度や興味を考慮して丁寧に指導をおこなっています。



✓ 日本文化研修

2024年6月8日に、日本語教室に通う外国人とその家族・友人、スタッフ総勢27名で、東京国立博物館や浅草寺へ行き、日本の歴史・文化を学びながら交流を深めました。



✓ 「日本語教室」ボランティアスタッフ募集☆

外国人やその家族の日本語学習を手伝ってくれるスタッフを募集しています。特別な資格や経験は必要ありません。外国語が話せなくても大丈夫ですので、気軽に参加してください。日本語の日常会話を通じて、身近な国際交流を始めてみましょう。また、日本語教室の受講者も随時募集しています。



私の国際交流

キャロライン ウィギンズ (Ms. Caroline Wiggins)

私はイギリス出身で、現在藤岡市に住んでいます。1991年の夏、JETプログラム (Japan Exchange and Teaching Programme) の一環で29歳の時に来日しました。私は鬼石にALTとして配属され、3年間暮らしました。その後、玉村町や埼玉県神川町にも住み、2013年に藤岡市に引っ越しました。現在は、藤岡市の美九里地区に住み、埼玉県深谷市の小学校でALTをしています。I LOVE TEACHING!! 地域の春祭りで獅子舞の奉納に参加したり、地元素材を使った味噌仕込みを体験するなど楽しんでいます。

日本で英語を教え始めたころ、思いがけないカルチャーショックを受けました。それは、「あなたの英語は英語じゃない!」と言われたことです。日本の学校ではアメリカ英語が主に教えられているため、私の話すイギリス英語が「違う」と感じられたようです。例えば、アルファベットの「Z」の発音は、イギリス英語では「zed」、アメリカ英語では「zee」です。また、「colour (英)」と「color (米)」のように、単語のスペルが異なるものもあります。さらに、イギリスでは映画を「film」と言いますが、アメリカでは「movie」、サッカーを「football」と呼びますが、アメリカでは「soccer」です。こうした経験を通じて、世界にはさまざまな英語があることをもっと多くの人に知ってもらいたいと思うようになりました。

私は、日本に来てから30年間、迷い犬や猫、捨てられたり虐待された犬や猫を保護し、新しい家を見つける活動を続けてきました。これまでに92匹の猫と48匹の犬を引き取りました。しかし、日本では特に年を取った動物の里親を見つけることがとても難しく、多くの動物を自分で飼うしかありませんでした。以前「AFA (Action for Animals)」という動物保護団体を群馬で立ち上げようと思いました。その際、FM群馬に出演し、上毛新聞の記者が自宅まで取材に来てくれました。前橋で5人のメンバーと最初の会合を開き、再び新聞記事も掲載されました。当時は一般的の関心が低く、残念ながら活動を続けることができませんでした。

最近になって、同じように個人で動物を保護している方々との出会いがありました。NPO法人のような正式な団体ではなく、もっと気軽な仲間同士のネットワークを藤岡で作れたらと思うようになりました。例えば、一緒に資金集めを考えたり、情報交換をしたりできるような場があればと思っています。動物を飼うことは、単に工賃代がかかるだけではありません。最も大きな負担は、動物の医療費です。不妊・去勢手術、ワクチン接種、フィラリア予防、病気になったときの治療など、多くの費用が必要になります。

どんな小さなことでも構いません。もし、英語 - 日本語で交流をしながら保護活動をご一緒にいただける方がいらっしゃれば、ぜひお繋がりしたいです。もちろん、ただ英語 - 日本語での話し相手が欲しい、コーヒーでも飲みながらお互いの悩みやおしゃべりを話したいという方も大歓迎です!

